

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【公開番号】特開2018-126293(P2018-126293A)

【公開日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2018-031

【出願番号】特願2017-20914(P2017-20914)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月8日(2020.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技が可能な遊技機であって、

遊技に関する演出を実行可能な演出実行手段と、

発光手段と、

前記発光手段からの光が端面から入射されることにより演出表示を行うことが可能な導光板と、

前記導光板が取付けられる被取付部と、

を備え、

前記発光手段は、第1発光手段と該第1発光手段と異なる第2発光手段とを有し、

前記導光板は、前記第1発光手段から光が入射されることにより第1演出表示を表示可能であり、前記第2発光手段から光が入射されることにより前記第1演出表示と異なる第2演出表示を表示可能であり、

前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミングで実行可能であり、

前記被取付部は、前記発光手段に対する前記導光板の位置決め用のボスとして、第1位置決め用ボスと第2位置決め用ボスとを含む複数の位置決め用ボスを有し、

前記導光板は、前記第1位置決め用ボスが挿入可能な第1挿入部と、前記第2位置決め用ボスが挿入可能な第2挿入部とを含む複数の挿入部を有し、

前記第2位置決め用ボスと前記第2挿入部とは、前記導光板を前記被取付部に取付けた状態において、前記第2位置決め用ボスと前記第2挿入部との間に生じる隙間が前記第1位置決め用ボスと前記第1挿入部との間に生じる隙間よりも大きく、前記端面に平行または略平行な特定方向への前記導光板の移動を許容する一方で該特定方向以外の方向への前記導光板の移動を規制するように設けられ、

前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を解決するために、本発明の手段1の遊技機は、
遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、
遊技に関する演出を実行可能な演出制御手段（例えば、演出制御用CPU120など）
と、

発光手段（例えば、第1導光板LED512, 517、第2導光板LED522）と、
前記発光手段からの光が端面（例えば、上端面511A, 521A、左端面511B）
から入射されることにより演出表示（発光表示）を行うことが可能な導光板（例えば、第
1導光板511、第2導光板521）と、

前記導光板が取付けられる被取付部（例えば、前保持部材503、中保持部材504、
後保持部材505）と、

を備え、

前記発光手段は、第1発光手段と該第1発光手段と異なる第2発光手段とを有し、
前記導光板は、前記第1発光手段から光が入射されることにより第1演出表示を表示可
能であり、前記第2発光手段から光が入射されることにより前記第1演出表示と異なる第
2演出表示を表示可能であり、

前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミング（例えば、1の変動表
示が開始した時、1の変動表示においてリーチ状態が発生する前、1の変動表示において
リーチ状態が発生した時、1の変動表示においてリーチ状態が発生した後、大当たり遊技状
態中など）で実行可能であり、

前記被取付部は、前記発光手段に対する前記導光板の位置決め用のボスとして、第1位
置決め用ボス（例えば、第1位置決め用ボス571, 551）第2位置決め用ボス（例え
ば、第2位置決め用ボス572, 552, 542）とを含む複数の位置決め用ボスを有し
、

前記導光板は、前記第1位置決め用ボスが挿入可能な第1挿入部（例えば、第1孔部6
01, 611）と、前記第2位置決め用ボスが挿入可能な第2挿入部（例えば、第2孔部6
02, 612, 622）とを含む複数の挿入部を有し、

前記第2位置決め用ボスと前記第2挿入部とは、前記導光板を前記被取付部に取付けた
状態において、前記第2位置決め用ボスと前記第2挿入部との間に生じる隙間（例え
ば、隙間S2, S12, S14）が前記第1位置決め用ボスと前記第1挿入部との間に生じる
隙間（例えば、隙間S1, S11）よりも大きく、前記端面に平行または略平行な特定方
向への前記導光板の移動を許容する一方で該特定方向以外の方向への前記導光板の移動を
規制するように設けられ（例えば、図18、図19、図22、図23）、

前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なる
ことを特徴としている。

この特徴によれば、導光板の熱膨張に対し好適に対応できる。また、導光板による演出
の実行タイミングに遊技者の注意を集めることができれば、導光板による演出の演出効果
を向上でき、導光板による演出に基づく興奮をより向上させることができる。